

## 船舶インシデント調査報告書

平成28年11月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	平成28年5月12日 09時50分ごろ
発生場所	熊本県上天草市 <sup>おおやの</sup> 大矢野島北方沖 三角灯台から真方位270° 470m付近 (概位 北緯32° 37.5′ 東経130° 26.3′)
インシデントの概要	プレジャーボート <sup>ジャック</sup> JACKは、漂流中、船外機の運転ができなくなって運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成28年6月21日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート JACK、5トン未満（長さ6.39m）
船舶番号、船舶所有者等	293-35688熊本、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	本船は、船外機をアイドル状態として漂流中、船外機が停止し、その後始動できなくなった。 本船は、巡視艇により熊本県三角港内の棧橋にえい航され、機関修理業者が船外機を点検したところ、‘燃料タンクから船外機へ燃料を連続して供給できるよう、船外機始動前に接続ゴムホース内の空気を除去して燃料で満たすためのゴム製ポンプ’（以下「本件プライマリポンプ」という。）に亀裂を生じて空気が混入し、船外機に燃料が連続して供給されない状態であることが判明した。 本件プライマリポンプは、約15年間使用されていた。
分析	本船は、本件プライマリポンプに亀裂を生じて空気が混入したことから、船外機に燃料が供給されず、船外機の運転ができなくなり運航不能となったものと考えられる。 本件プライマリポンプは、長期間の使用により劣化して亀裂を生じた可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、本件プライマリポンプに亀裂を生じて空気が混入したため、船外機に燃料が供給されず、船外機が運転できなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・定期的に燃料供給システムの点検を行うこと。